

特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

1 基本方針

入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより、入居者がその有する能力に応じ、安心して安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

2 今年度重点事業目標

(1) ユニット型施設として安定した運営

ア 安定したユニット運営を図るため組織体制を整備する。

イ 災害時等非常時の地域住民との協力体制を確立する。

ウ 外部加工品を利用したニュークックチルを併用した調理体制を確立する。

エ 新型コロナウイルス感染防止に努める。

(2) 生活を支えるユニットケアの実践

ア ユニットケアや認知症ケアなどの研修を実施し、正しい知識と技術を高め、専門的視点からアプローチを行い、入居者の自律に取り組む。

イ その人らしい生活が送れるよう、ユニットの環境を活かしながら各部門連携により、自律支援の視点から個別ケアの実践を目指す。

(3) 人権の尊重

気づきの機会を増やし、虐待に繋がる可能性がある些細な事にも目を向け検討を行い、虐待の芽の早期発見及び虐待事案の未然防止に繋げる。

(4) 介護事故予防の推進

福祉用具を活用し介護事故を未然に回避するとともに容態急変時等の迅速な対応に努め、より安心して安全な介護を目指す。

(5) 社会貢献の推進

ア 地域社会における共生を念頭に、地域住民、ボランティア等を積極的に受け入れることで、福祉に対する理解や啓発を推進する。

イ 交流ホールを開放し、地域の高齢者やご家族も参加できるサロンを地域のボランティアの協力も得ながら推進し、高齢者の閉じこもり防止、居場所づくりに繋げる。

ウ 様々なニーズに対する相談窓口を設置する。

(6) 経営改善・基盤の確立

ア ユニット型施設として稼働率96%を目標に運営を行う。

イ 業務の効率化を図り、適切な予算管理を行う。

(7) 働きやすい職場環境作りと安全衛生の充実

ア リフトや福祉用具等を活用し、腰痛予防と介護負担の軽減に努める。

イ 業務の効率化、業務負担の軽減、時間外勤務の縮減に努める。

ウ 産業医による面談や休業者の職場復帰支援などの個人的アプローチを行い、メンタルヘルスケアの推進を図る。